科目名			担当教員	
地域福祉論			大石　剛史	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CA3105	4	2	RorSR（講義）	2年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含むケアリングコミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学びます。

具体的には、各地域における様々な実践事例や、エピソードなどを交えて、地域福祉の基本的な考え方と、その考え方が具体的な実践でどのように活かされているのか講義を通じて紹介します。

これらの事例等を通じて、地域福祉の実践によってどのような効果や成果が望まれているのか等に関し、地域住民が取り組む意義と、地域福祉実践が絶えず動的に展開される必要性について理解を深めます。

【教員等の実務経験による指導内容】

自治体、社会福祉協議会等への地域福祉の進め方に関するスーパーバイズ経験等を活かして、小地域福祉活動の進め方、地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築方法、地域福祉計画の策定プロセス等、具体的な事例等を交えて解説する。

■到達目標

1）地域福祉の必要性をふまえ、理念および基本的な理論を説明することができる。

2）地域福祉は、地域共生社会実現に向けた実践であることを説明できる。

3）地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「地域福祉と包括支援体制Ａ・Ｂ」と共通）

都築光一著『福祉ライブラリ現代の地域福祉（第２版）』建帛社、2022年

（最近の教科書変更時期）2023年４月

（スクーリング時の教科書）【各会場共通】上記教科書は必ず持参してください。旧教科書を所持している場合でも受講に支障がないよう資料などを配付します。

【参考図書】

1）大石剛史著『ケアリングコミュニティの理論』学文社、2024 年
2）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規出版、2022 年
3）公益社団法人日本社会福祉士会『地域共生社会に向けたソーシャルワーク：社会福祉士による実践事例から』中央法規、2018 年
4）日本地域福祉研究所（監修）、中島修、菱沼幹男（編集）『コミュニティソーシャルワークの理論と実践』中央法規、2016 年

スクーリング

▶オンデマンドのみ

■スクーリングで学んでほしいこと

国民の個人の尊厳に立脚した社会福祉に関する構造の構築と併せて、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営めるように自立生活を支える地域福祉の推進は、今後の社会福祉の基調を示すものとなっている。福祉コミュニティを目指す実践を理論構築していく地域福祉論は、複雑な今日の地域社会の諸問題に向き合いながら、住民主体の諸活動を支援していく専門職の役割を理解するとともに、次の点を学びとってください。

⑴ 地域福祉の歴史と理念をしっかりと学んでください。
⑵ 地域福祉推進の実践手法について理解しましょう。
⑶ 地域福祉において実践する際の人的社会的資源と、その活用法を理解しましょう。
⑷ 地域福祉における住民参加の意義と、住民主体の原則について、理解しましょう。
⑸ 包括的地域支援体制や、災害対応並びに福祉行政に関する理解を深めましょう。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域福祉の概念と理念	住民自治・福祉コミュニティ
2	地域福祉とは	概念・定義
3	地域福祉の原理と実践	住民主体、地域性、人的社会的資源
4	地域福祉の歴史（欧米編）	デンマーク、イギリス、アメリカ
5	地域福祉の歴史（日本編	日本における地域福祉のあゆみ
6	社会福祉協議会	社会福祉協議会の概要、歴史、現状、課題
7	福祉行政	国と市町村の福祉行政の仕組み、特別地方公共団体
8	福祉財政	福祉関係の一般会計、特別会計、寄付金その他
9	地域社会の概念と理論	地域社会の概念と理論、地域社会の変化について学ぶ
10	福祉計画の意義・目的と展開	福祉行財政と福祉計画や福祉計画の種類や歴史を学ぶ
11	福祉計画の策定過程と方法・評価	計画の課題把握や実施に向けた合意形成・評価について学ぶ
12	包括的支援体制と地域包括ケアシステム	各種制度による対応システムについて学ぶ
13	地域共生社会の実現に向けた多機関協働	多機関協働と多職種連携について学ぶ
14	非常時や災害時における法制度	災害と地域福祉について法制度等を通じて学ぶ
15	非常時や災害時における総合的な支援	災害時の福祉的支援について事例を通じて学ぶ

16	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望	地域共生社会の構築・福祉ガバナンスについて学ぶ
17	スクーリング試験	

■講義の進め方

テキストおよび配付資料をもとに板書もしながら進めます。

■スクーリング　評価基準

授業への参加状況（20%）＋スクーリング試験（80%）　試験は記述問題とし持込可。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

まちづくりの主体は地域住民であるという原則から、地域福祉は地域の課題解決に向けた地域による取り組みが基本です。そのための基本的な考え方を、予習してきてください（特に教科書の第 1 章と第 4 章）。

講義は、具体的かつ実践的な内容で行いますので、とりわけ実務経験を有していない方にあっては、事例なども読んでおいた方が望ましいです。

レポート学習

■在宅学習 30 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	地域福祉を学ぶ （序章）	地域福祉を学ぶことの現代的意義について理解する	・今地域福祉を学ぶ意義の理解 ・地域福祉の具体的な展開の意味を理解する
2	地域福祉の理念 （第 1 章）	地域福祉の理念としての住民自治と福祉コミュニティを理解する	・民主主義の基本としての住民自治 ・社会福祉のコミュニティ論としての福祉コミュニティ
3	地域福祉とは （第 1 章）	地域福祉の定義を理解する	地域福祉とは、地域住民等が、人的社会的資源を活用して、福祉コミュニティ構築を目指す、実践をいう。
4	地域福祉の原理と実践 （第 1 章）	・住民主体・地域性・人的社会的資源の意味を理解する	以下の 3 点について理解する ・地域福祉における住民の主体性の原理 ・内発的発展と地域性の原理 ・人的社会的資源のシステム形成の原理
5	外国における地域福祉のあゆみ （第 2 章）	・デンマーク ・イギリス ・アメリカ	・実践理念としてのノーマライゼーション ・地域福祉の精度のあゆみ ・ソーシャルワーク理論の発展
6	日本における地域福祉のあゆみ 1 （第 2 章）	第二次世界大戦までの日本の地域福祉のあゆみを振り返る	・幕末まで……国家としての取り組みのない時代 ・明治～大正期…地域福祉の萌芽期 ・大正～終戦期…停滞期
7	日本における地域福祉のあゆみ 2 （第 2 章）	戦後の制度構築期からこんにちまでのあゆみを振り返る	・戦後～2000 年…地域福祉模索期 ・2000 年～……地域福祉形成期
8	地域社会と最近の動向 （第 2 章）	日常生活課題と地域共生社会について理解する	・多様化する生活問題 ・地域共生社会の実現

9	社会福祉協議会１ （第３章）	社会福祉協議会の存在意義とこれまでのあゆみを理解する	・設立の背景と機能 ・わが国における社会福祉協議会の歴史
10	社会福祉協議会２ （第３章）	社会福祉協議会の法的規定と市区町村社会福祉協議会	・社会福祉協議会の法的根拠（社会福祉法） ・市区町村社会福祉協議会
11	社会福祉協議会３ （第３章）	都道府県および全国社会福祉協議会と今日の課題	・都道府県社会福祉協議会 ・全国社会福祉協議会 ・社会福祉協議会の今日の課題
12	社会福祉行政１ （第５章）	福祉行財政の原則と原則	社会福祉法と地方自治法の ２ つの法令から理解する。 ・福祉行政と財政 ・行政運営の原則
13	社会福祉行政２ （第５章）	福祉行財政のあゆみと構造	・戦後における福祉行財政のあゆみ ・福祉行財政の構造
14	社会福祉行政３ （第５章）	福祉行政機関と組織	・国・都道府県・市町村における福祉行政機関 ・多様な行政機関の組織
15	社会福祉行政３ （第５章）	行政の展開過程と財政	・行政実務の類型 ・行政実務の意思決定過程 ・財政の仕組み
16	地域共生社会実現の必要性 （第２章）	今日の地域社会の動向を踏まえ、地域共生社会への取組みの必要性を理解する	・地域共生社会の必要性 ・脆弱化した地域社会 ・都市における高齢化の進行
17	民生委員１	民生委員制度の概要と歴史について理解を深める	・民生委員制度の概要 ・民生委員制度の歴史 ・民生委員の職務内容
18	民生委員２	民生委員活動の現状と課題を理解する	・民生委員の位置づけと働き ・民生委員制度の課題
19	地域福祉関係団体	地域福祉活動に関係する様々な団体の種類や役割について理解する各種団体のネットワーク形成のあり方や考え方を理解する	・地域関係団体（自治会・町内会等） ・当事者団体（老人クラブ・子ども会・各種障害者団体など） ・職能団体やサービス提供者団体 ・企業や JA などその他
20	福祉教育１	福祉教育の理念・目的・概念の理解	・福祉教育の理念 ・福祉教育の概念と各種理論
21	福祉教育２	福祉教育の取組みの歴史と具体的な事例	・福祉教育のあゆみ ・福祉教育の取組み事例（地域と学校）
22	地域福祉計画１	地域福祉計画の概要と目的・法的根拠	・地域福祉計画の目的と概要 ・地域福祉計画の法的根拠
23	地域福祉計画２	地域福祉計画の策定プロセスと用いられる調査・統計	・地域福祉計画の策定プロセス ・計画策定に活用される調査や統計と活用上の留意点
24	地域福祉活動計画	行政と違った社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画の意義と地域福祉計画との関係	・地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係 ・地域福祉活動計画策定の必要性 ・地域福祉活動計画の特長
25	包括的支援体制１	福祉専門職による地域における様々な活動について理解する	・包括的支援体制と重層的支援体制 ・相談支援の特長と具体的な事例

26	包括的支援体制２	就労、学習など、様々な機会に参加することができるよう支援する参加支援	①多様な社会参加・就労の支援 ②住まいの確保のための支援 ③権利擁護のための支援 ④社会との接点の確保・包摂の支援
27	包括的支援体制３	地域活動や地域づくりに関する支援のあり方を理解する	•「地域」そのものの働きとしての「場」の機能 •「地域」づくりへの取組としての「地域づくりをコーディネイトする機能」 ・住民自身が主体的に取り組むよう支援する
28	災害時福祉支援体制１	災害時におけるフラジリティとヴァルネラビリティの理解	•災害は社会事象であることと様々な脆弱性の克服が求められていること ・様々な災害法制の理解
29	災害時福祉支援体制２	レジリエンスとしての災害福祉の取組みの理解	・フォーマルな取組み ・インフォーマルな取組み ・災害福祉としての当事者を包摂した取組み
30	今後の地域福祉の方向性	現代社会の様々な問題と解決に向けた地域福祉の取組みの方向	現代社会の様々な問題について事例を紹介する様々な事例の解決に向けた地域福祉の取組み事例を通じて、今後の実践の方向性を探る

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
３単位め	現代の地域生活課題に対応するための地域共生社会と、そこで構築が目指される包括的支援体制のあり方について述べよ
４単位め	**【説明型レポート】** 下記①～④をすべて説明しなさい（各 500 字程度、計 2,000 字程度）。 ① 地域福祉を推進する社会福祉協議会の役割について ② 福祉教育の意義について ③ 地域福祉計画の策定のあり方について ④ 災害時における福祉の重要性について

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

（３・４単位め共通）

本科目を学ぶにあたり、あらかじめ留意しておく事項を挙げます。

⑴ 学習時間についてです。ほとんどの方が職業を持っているということから、学習時間を確保することが難しいかと思いますが、学習目標を設定し、短時間でも良いので必ず毎日学習時間を作ることです。

⑵ 社会の動き（経済活動、市民意識の動向等）を知る努力をすることです。社会福祉の制度・政策の策定は常に市民生活や社会生活の変化に基づいて行われてきているというところから、社会の動向に高い関心を持って学習に臨んでください。

⑶ レポートの作成には教科書をよく読んでください。また、教科書などが「章」「節」などで構成されるようにレポートも論述する事柄を項目ごとに区切って作成してください。例えば、　　１　〇〇〇　　や　⑴　□□□　です。

⑷ 従前テキストの『地域福祉論』を使用している学生は、近年地域福祉に関する重要な制度改正が相次いでいますので、近年の関係法令や制度改正に関する情報をしっかり収集してください。

【1・2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【3 単位めアドバイス】

第２章の多様化した地域社会と最近の動向を踏まえ、第７章を参照して現代の地域生活課題に対応する地域共生社会のあり方をよく理解しましょう。次に、そのような地域共生社会を構築するための包括的な支援体制のあり方をよく考察し、地域における多機関協働やまた地域住民の主体的活動とも連携した支援体制のあり方を考えましょう。

【4 単位めアドバイス】

第３章、第４章、第６章、第８章をよく読み、地域福祉を推進する社会福祉協議会の役割、福祉教育と地域福祉計画の意義、そして災害時における福祉の重要性についてよく学習してください。

科目修了試験

■評価基準

テキスト・文献や法律等からの引用だけではなく、学んだ知識を踏まえた上でのご自身の考察が重要です。的確な内容の理解に基づいたうえで、独自性のある考察が行われていることが評価ポイントになります。